武雄高校だより

質実剛健·報恩感謝

TAKE OFF ~ Takeo Future Frontier ~

令和 6年 11月 19日発行 第245号

発行者 佐賀県立武雄高等学校

TEL: 0954-22-3103 FAX: 0954-20-1010

URL: https://www.education.saga.jp/hp/takeokoukou

● まちづくり参画事業 ●

10月26日(土)に開催された朝日超スポーツフェスタに、まちづくり参画事業をおこなっているチームの中の2チームが参加しました。

★ 「食で通じる地域社会」をテーマに活動しているウインターチームは、武雄市食生活推進委員会の方と一緒にさいころご飯と石垣だんごを作って販売しました。販売時にレシピをリーフレットにしたものも配布しました。この企画は、武雄の郷土料理を地域の人々に知ってもらい、家庭で親しんでもらいたいという思いから実現しました。

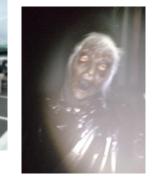
☆ 「老若男女すべての地域住民が楽しめるイベントづくり」をテーマに活動しているしんぞうばくばく ハウスチームは、「武雄の妖怪に用かい」というタイトルでお化け屋敷を作り、イベント参加者に楽し んでもらいました。この企画は、まずは自分たちが地域事業に参加する楽しさを知り、普段お化け屋敷 に行かない高齢者には新鮮な体験・感覚を提供し、こどもたちには、地域事業に楽しく参加する高校生 の姿を見せることで将来は開催する側に立ちたいという気持ちを持ってもらいたいという思いから実現

しました。









● 国際理解教育講演会 ●

10月31日(木)、1,2年生を対象に国際理解教育講演会がおこなわれました。この講演会は、佐賀県産業人材課の佐賀県産業人材確保プロジェクト推進会議による「SAGAミライシルプロジェクト」の一環としておこなわれる「佐賀県企業講演会」を兼ねているものです。

レグナテック株式会社専務取締役の樺島賢吾様を講師に迎え、「世界と私たち一海外に出ると人生が変わる一」という演題で講演をしていただきました。海外の有名企業との取引など、佐賀の会社が世界とつながっている話に、生徒たちは興味を持って耳を傾けていました。また、フィリピンへの短期留学の話では、語学だけでなく、その地域での生活を通して、「幸せ」の在り方について考えさせられたことなどを熱く語られ、その語りに生徒たちは引き込まれているようでした。自らの高校・大学時代を引き合いに、一日一日を一生懸命に大事にすることが大きなチャンスをもたらしてくれるとの話や、佐賀を出て外から地元を見ることで視野が広がった話など、これからの進路選択の参考になりそうな内容で生徒たちは刺激を受けたようです。講演後の生徒たちの会話からも有意義な時間となったことがうかがえました。





裏面もあります

● 後期生徒会長選挙

10月23日(水)に、後期生徒会長選挙の立会演説会および投票がおこなわれました。3名の立候補者は、校則改正をはじめ、学校生活をより良いものにするための取り組みを公約として掲げ、演説をおこないました。全校生徒は演説を真剣に聞き、誰に投票するか考えているようでした。

立会演説会後、実際の選挙と同様の手順で投票がおこなわれました。立候補者の意見を聞き、考えて投票するという今回の体験を、有権者となり実際の選挙で投票する際に生かしてほしいと思います。











● 芸術鑑賞会 ●

10月24日(木)に武雄青陵中学校と合同で芸術鑑賞会がおこなわれました。今年度は音楽鑑賞で、ゴスペルボーカルグループ StarLights (スターライツ)様によるライブパフォーマンスを楽しみました。演奏前には、楽曲や曲の背景についての説明をしていただきました。その背景を踏まえて聴くことでゴスペル音楽への理解を深めることができたようです。ゴスペルだけでなく、ゴスペルと共通する理念がある J―POP や青陵中学校と武雄高校の校歌メドレーなども披露していただきました。アーティストの圧倒的な声量と歌唱力、ハーモニーの美しさに生徒たちは感動している様子でした。最後は全員で手拍子やコールアンドレスポンスをするなど、大盛況に終わりました。





● ビブリオバトル ●

11月5日(火)に1、2年生による校内 ビブリオバトルがおこなわれました。ビブリ オバトルとは、「ぜひ、みんなに読んでほし い!」と思う本を個人で持ち寄り、グループ やクラス内で紹介する活動です。まずはグル ープ内で本の紹介をおこない、そこで選ばれ たグループの代表者たちがクラスの前で紹 介をおこない、最後は投票によってクラス代 表を決めました。様々な工夫を凝らし、生徒 は自身の持ち時間の中で、本の魅力を紹介し ていました。担任も発表内容を聞いていまし たが、どれも興味をそそるものばかりで、子 どもたちだけでなく大人にとっても充実し た時間となりました。





